

キリのインテリアブランド展開

分譲住宅の住空間に提案

中央住宅・厚川産業・春日部桐箱工業協組

ポラスグループの中央住宅（埼玉県越谷市、品川典久社長）は、キリを用いた伝統工芸技術を生かすインテリアブランド「KIRIHAKO（キリハコ）」を開発、2023年1月ごろからの本格展開を目指す。キリ工芸品の産地である埼玉県春日部市の、春日部桐箱工業協同組合（同春日部市、厚川秀樹理事長）、建材メーカーの厚川産業（同吉川市、同社長）との共同プロジェクト。中央住宅の戸建て分譲でのインテリア提案に生かすと同時に、地域産業活性化にもつなげる。

三者は約10年前からアップを拡充し、これまで約1000棟近くの戸建て分譲に採用実績がある。20年にはキリノカとして正式にブランド化した。今開発したキリハコは、キリノカのノウハウを発展させたブランド。雑貨や家具などを商品化する計画だ。

（同社長）のインテリア部門が担う。戸建て分譲購入顧客とのインテリアの打ち合わせで、内装パネルとインテリア雑貨を合わせて提案。同素材、同色味など、キリをふんだんに使った住空間創出を実現する。

ブランド本格展開後のラインアップや価格帯などは現在調整中。既に小箱のような雑貨やサイドテーブルなどさまざまな品が開発されており、分譲住宅購入者が求める住空間の演出に最適なラインアップを検討する。



小箱などのキリインテリア雑貨。奥の壁に設置してあるのが内装パネル「キリノカ」

キリハコとキリノカに合わせキリノカの訴求は、モデルハウスの展示する「アンテナモデル」が発信地となる。10月末までは、8月に販売開始した最新分譲地「フレイベスト新河岸 WA plus」（埼玉県川越市）に設置。11月下旬からは埼玉県の鳩ヶ谷エリアの分譲地での設置というように、モデルハウ

スを活用した移動式展示をする。展開後は受注生産を基本とする計画。メーカーである厚川産業は、今後必要に応じて生産量を増やす構えだ。厚川雅信厚川産業常務は「住宅トレンドに合わせキリノカの開発に取り組んできた。これからキリをインテリアに落とし込めるよう努める」と意欲的だ。また厚川秀樹春日部桐箱工業協同組合理事長は「今までは販売力に課題があった。キリハコの展開により組合のノウハウを生かせる」と期待を込める。伝統工芸としてのキリは、キリ箱をはじめとした生産が1980年代まで盛んだったが、その後は産業規模が縮小。現在、産地として組合などで組織化されているのは春日

部地域のみだという。今回の三者の取り組みは、伝統工芸の再活性化としても重要な役割を果たす。

新次元の解決策
精密機械刃物
ツールシステム
ライツ株式会社
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜2-7-2
Tel 045-533-3020 Fax 045-533-3021
ホームページ www.leitz.co.jp